

Zenlogic ホスティング on IDC F Cloud 機能仕様書

Ver.1.13
2024年7月24日（水）公開

目次

1.	はじめに.....	3
1.1.	本書の定義.....	3
2.	機能詳細.....	4
2.1.	ドメイン設定.....	4
2.1.1.	ドメイン設定/追加・変更.....	4
2.1.2.	DNS ゾーン編集.....	5
2.2.	FTP.....	6
2.2.1.	FTP アカウント、FTP/SSH 設定.....	6
2.2.2.	FTP アクセス制限.....	7
2.2.3.	TLS バージョン制限.....	7
2.3.	WEB.....	8
2.3.1.	WEBドメイン設定.....	8
2.3.2.	SSL デフォルトページ設定.....	9
2.3.3.	WEB アクセス制限.....	10
2.3.4.	WAF.....	11
2.3.5.	アクセス解析.....	11
2.3.6.	cron 設定.....	12
2.3.7.	PHP 設定.....	13
2.3.8.	TLS バージョン制限.....	13
2.3.9.	CSR 発行.....	14
2.4.	サーバーサイドスクリプト/その他.....	15
2.4.1.	ご注意.....	15
2.4.2.	PHP.....	15
2.4.3.	Perl.....	16
2.4.4.	SSI.....	16
2.4.5.	.htaccess.....	16
2.5.	データベース.....	17
2.5.1.	MySQL 5.7.....	17
2.5.2.	MySQL 8.0.....	18
2.5.3.	MariaDB 10.3.....	19
2.5.4.	PostgreSQL 9.6.....	20
2.5.5.	その他.....	20
2.6.	メール.....	21

2.6.1.	メールアカウント	22
2.6.2.	メールアカウント詳細設定	23
2.6.3.	メールボックス使用量表示	24
2.6.4.	ウイルス/スパム対策	25
2.6.5.	メール送信元制限	26
2.6.6.	パスワード変更通知	27
2.6.7.	共通メールフィルター	28
2.6.8.	TLS バージョン制限	29
2.6.9.	メールサーバーの起動/停止	29
2.6.10.	リレーサーバー設定	30
2.6.11.	DKIM 設定	31
2.7.	メーリングリスト	32
2.7.1.	仕様	32
2.7.2.	設定情報/設定値	32
2.7.3.	制限事項	33
2.8.	簡易ファイル共有	34
2.8.1.	仕様	34
2.8.2.	設定情報/設定値	34
2.8.3.	制限事項	35
2.9.	簡単インストール	35
2.9.1.	仕様	35
2.9.2.	設定情報/設定値	35
2.9.3.	制限事項	36
2.10.	ログ	37
2.10.1.	各種ログファイルの提供	37
2.10.2.	Zenlogic カスタマーポータルでの操作ログ	38
3.	変更履歴	39

1. はじめに

1.1. 本書の定義

本書は、株式会社 IDC フロンティアが提供する Zenlogic (ゼンロジック) 「 Zenlogic ホスティング on IDC F Cloud 」の機能仕様です。機能に関する仕様書ですので、別途、「ホスティング on IDC F Cloud サービス仕様書」と合わせてご確認ください。

尚、本サービスは、順次改善、周辺環境の変化に伴う仕様変更を行います。仕様変更にあたっては、以下の WEB ページを介し、サービス仕様書の最新版を公開いたします。

【機能仕様】

<https://www.idcf.jp/rentalserver/yakkan.html?#Sec02>

2. 機能詳細

2.1. ドメイン設定

- ・ホスティングで利用するドメイン名を設定できます。
- ・DNS ゾーンの設定や WEB 機能、メール機能の利用可否を設定できます。

2.1.1. ドメイン設定/追加・変更

2.1.1.1. 仕様

ドメイン名設定	<ul style="list-style-type: none">・各ホスティングに利用するドメイン名が設定できます。・ドメイン名は、以下のどちらでも設定できます。<ul style="list-style-type: none">①Zenlogic「Zenlogic カスタマーポータル」で管理しているドメイン名②他のレジストラで管理しているドメイン名※いずれの場合もサブドメインの設定が行えます。
各種サービスの設定	<ul style="list-style-type: none">・ドメイン名ごとに WEB サーバー、メールサーバーの利用可否を切り替えられます。※「利用しない」を選択した場合、サービスは利用できません。設定情報を削除しサービスが利用不可となります。ただし、サービスプロセスは停止せず、通信ポートを閉じません。

2.1.1.2. 設定情報 / 設定値

ドメイン名の設定数	<ul style="list-style-type: none">・上限は設定していません。※多数の設定を行った場合、WEB アクセス、メール利用量、WEB アプリケーションの負荷などが重なり、リソース不足のため快適にご利用いただけない場合があります。vCPU/メモリの性能が高いリソースプラン変更やホスティング環境の追加購入をご検討ください。
-----------	--

2.1.1.3. 制限事項

- WEB、メールを同時に「利用しない」に設定することはできません。いずれかの利用が必要です。
- WEB サーバー、メールサーバーを「利用する」から「利用しない」に変更した場合、指定したドメイン名の設定とデータは、次の挙動となります。

WEB	<ul style="list-style-type: none"> • 設定情報はすべて削除されます • アップロードしたコンテンツデータは保持されます。
メール	<ul style="list-style-type: none"> • 設定情報、メールデータはすべて削除されます。 ※サーバー内に保存中のデータやメールリングリストも削除されます。

2.1.2. DNS ゾーン編集

2.1.2.1. 仕様

DNS ゾーン編集	<ul style="list-style-type: none"> • 設定したドメイン名の DNS ゾーンが編集できます。 • 対象ドメイン名として指定したホスト名の A、MX、TXT、NS、SOA レコードを標準で作成します。 • 各 DNS ゾーンで追加、編集できるのは以下のレコードです。 【 A / CNAME / MX / NS / TXT / SPF / AAAA / SRV 】
-----------	---

2.1.2.2. 設定情報 / 設定値

DNS ゾーン提供数	<ul style="list-style-type: none"> • 標準 6 ゾーンを提供します。 ※「標準ドメイン名」用の DNS ゾーンは別途提供されます。但し、DNS を編集できません。 • 5 ゾーン単位で追加できます。追加数に上限はありません。(有料オプション)
------------	--

2.1.2.3. 制限事項

DNS ゾーン編集は設定した内容次第では、意図しない挙動が発生します。その結果、WEB、メールなどの利用ができなくなる場合がありますので、DNS についての知識が必要です。

※当社サポートセンターにてご相談を承ります。

2.2. FTP

- ・ サーバー上のファイル、ディレクトリへのアクセス方法を選択できます。
- ・ 複数のアカウントが登録できます。
- ・ アカウントごとにホームディレクトリを設定できます。
- ・ サーバーへのアクセスをIP、ネットワークを指定して制限できます。

2.2.1. FTP アカウント、FTP/SSH 設定

2.2.1.1. 仕様

FTP アカウント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の FTP アカウントが登録できます。CSV 形式のテキストによる一括登録・一括出力も選択できます。 ・ アカウントごとにホームディレクトリを設定できます。 ホームディレクトリを設定した場合、設定したディレクトリ以下へのアクセスに限定できます。 ・ FTP over TLS (Explicit モード)に対応しています。
FTP/SSH 設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ FTP/FTPS/SFTP の利用可否を選択できます。併用も可能です。 ・ SFTP の利用時は公開鍵認証を行いますので、SSH キーの設定が必要です。 ・ SSH キーは、Zenlogic カスタマーポータルでの発行か、お持ちの公開鍵を登録できます。

※SSH でのコンソールログインや SCP コマンドでの設定には対応していません。

2.2.1.2. 設定情報 / 設定値

アカウント登録数	・ 上限は設定していません。
SSH キー登録数	・ 上限は設定していません。

2.2.1.3. 制限事項

- ・ FTPS では、当社指定の SSL サーバー証明書を用います。変更は行えません。
- ・ FTP / FTPS の利用をオフにした場合も、サービスプロセスは停止せず、通信ポートを閉じません。
- ・ FTP / FTPS / SFTP の接続ポートは変更できません。

2.2.2. FTP アクセス制限

2.2.2.1. 仕様

FTP アクセス制限	<ul style="list-style-type: none">FTP サーバーへのアクセス制限が行えます。アクセス制限は、以下の方法が選択できます。<ol style="list-style-type: none">①すべてのアクセスを許可②すべてのアクセスを拒否③特定の IP アドレス/ネットワークからのアクセスを許可④特定の IP アドレス/ネットワークからのアクセスを拒否 <p>※例</p> <table><tr><td>IP アドレスを単独で指定</td><td>192.0.2.3</td></tr><tr><td>ネットワークを範囲で指定</td><td>192.0.2.0/24</td></tr></table>	IP アドレスを単独で指定	192.0.2.3	ネットワークを範囲で指定	192.0.2.0/24
IP アドレスを単独で指定	192.0.2.3				
ネットワークを範囲で指定	192.0.2.0/24				

2.2.2.2. 設定情報 / 設定値

アクセス制限の設定数	<ul style="list-style-type: none">上限は設定していません。
------------	--

2.2.2.3. 制限事項

- すべての FTP アカウントに設定されます。アカウント単位で設定できません。

2.2.3. TLS バージョン制限

2.2.3.1. 仕様

TLS バージョン制限	<ul style="list-style-type: none">ホスティングの FTP アクセス(FTPS)で利用する暗号化方式(TLS)のバージョンを制限できます。
-------------	---

2.2.3.2. 設定情報/設定値

選択できるバージョン	<ul style="list-style-type: none">TLS「1.3」「1.2」「1.1」「1.0」での暗号化通信が可能です。指定したバージョン以上での通信を許可します。
------------	--

2.2.3.3. 制限事項

- 設定変更時は、FTP サーバーの再起動を行います。
- TLS バージョン制限の設定内容によっては、情報セキュリティ面での安全性を損ないます。設定の際は十分ご注意ください。(TLS1.2 以上を有効とする運用を推奨いたします。)

2.3. WEB

- ・ホスティングと関連付けたドメイン名のドキュメントルートを設定できます。
- ・サーバー内の特定のディレクトリに対する WEB アクセスを制限できます。
- ・WEB アプリケーションを対象にした攻撃への防御のため、WAF (ウェブアプリケーションファイアウォール) を標準提供します。
- ・アクセス解析ツール「Webalizer」でアクセスログ解析結果を確認できます。
- ・cron (ジョブスケジューラー) を用いて指定のスクリプトを指定時間に実行できます。
- ・ホスティングに設定する SSL サーバー証明書を選択できます。
- ・他社で取得された SSL サーバー証明書の持込み利用ができます。

2.3.1. WEBドメイン設定

2.3.1.1. 仕様

ドキュメントルート設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ホスティングと関連付けたドメイン名のドキュメントルートを設定できます。ドキュメントルートに設定したディレクトリは、WEB サイトとして公開されるルートディレクトリになります。 ・ドメイン名ごとにドキュメントルートが設定できます。 ・HTTP と HTTPS(SSL) で異なるドキュメントルートを設定できます。複数のドメイン名で同じディレクトリをドキュメントルートに設定できます。
証明書設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ドメイン名ごとに、SSL サーバー証明書取得・管理にて購入した SSL サーバー証明書を設定できます。 ・ドメイン名ごとに、お客様が他社で取得された SSL サーバー証明書を持込み、設定できます。また、ホスティングの機能として用意している証明書での標準設定も可能です。

2.3.1.2. 設定情報 / 設定値

ドメイン名ごとの設定数	<ul style="list-style-type: none"> ・HTTP のドキュメントルートは、1ドメイン名ごとに 1 ディレクトリを設定できます。 ・HTTPS のドキュメントルートは、証明書を設定しているドメイン名ごとに1ディレクトリを設定できます。(証明書を設定していないドメイン名には設定できません。)
証明書設定 持込証明書の登録フォーマット	<ul style="list-style-type: none"> ・持込証明書の登録時に利用できる証明書フォーマットは、X.509 形式での登録ができます。

2.3.1.3. 制限事項

- ・ドキュメントルートには、事前にドメイン設定を行ったドメイン名のみが表示されます。
- ・ドキュメントルートの設定には、事前に設定したいディレクトリの作成が必要です。
- ・日本語ドメイン名をコモンネームに含む SSL サーバー証明書は、利用できません。
- ・WEBドメイン設定での SSL サーバー証明書は、POPS、IMAPS、SMTPS、FTPS には適用されません。標準ドメイン名分の SSL サーバー証明書が適用されます。
- ・複数ドメイン対応の SSL サーバー証明書など、証明書の種類によっては利用できない場合があります。
- ・持込証明書の登録では、証明書のキーペア情報は保持されません。設定解除後の再設定の際には、再度持込み証明書の登録が必要となります。(当社では証明書キーペア情報を保持しません。)
- ・持込証明書の登録では、秘密鍵にパスフレーズが設定されているものは利用できません。
- ・持込証明書の登録では、秘密鍵と証明書、および、中間証明書を登録する必要があります。
- ・他社で取得された SSL サーバー証明書は、更新期限やキーペアなど、お客様での管理が必要です。

2.3.2. SSL デフォルトページ設定

2.3.2.1. 仕様

提供機能	・ IP アドレスやドメイン設定にないドメイン名で HTTPS アクセスがあった場合に表示させる WEB ドメインを指定します。
------	--

2.3.2.2. 設定情報/設定値

初期設定	・ 標準ドメイン名の SSL コンテンツが選択されます。
設定可能値	・ 証明書が設定されたドメイン名から選択できます。

2.3.2.3. 制限事項

- ・ 選択できるドメイン名は、証明書が設定されているもののみです。

2.3.3. WEB アクセス制限

2.3.3.1. 仕様

IP アドレス/ ネットワーク制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ IP アドレス/ネットワークでのアクセス制限が行えます。 ・ アクセス制限はディレクトリ単位で設定でき、設定したディレクトリ以下の全ディレクトリが制限を受けます。 ・ 制限は、以下の方法を選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> ①すべてのアクセスを許可 ②すべてのアクセスを拒否 ③特定の IP アドレス/ネットワークからのアクセスを許可 ④特定の IP アドレス/ネットワークからのアクセスを拒否 ※例 IP アドレスを単独で指定 192.0.2.3 ネットワークを範囲で指定 192.0.2.0/24
パスワード制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ Digest 認証を用いたパスワード形式のアクセス制限が行えます。 ・ アクセス制限はディレクトリ単位で設定できます。 ・ 設定したディレクトリ以下の全ディレクトリが制限を受けます。

2.3.3.2. 設定情報/設定値

登録可能な IP アドレス/ ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上限値は設定しておりません。
パスワード制限の ユーザー数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上限値は設定しておりません。

2.3.3.3. 制限事項

- ・ 初期状態は、「すべてのアクセスを許可」です。
- ・ IP アドレス/ネットワーク制限とパスワード制限を同時に設定した場合、いずれも反映されません。
- ・ 許可設定と拒否設定の組み合わせや 1 ユーザーのみ許可するなど、複雑な制限は行えません。

2.3.4. WAF

2.3.4.1. 仕様

提供機能	<ul style="list-style-type: none">設定したドメイン名ごとに WAF の利用の有無を選択できます。※EG セキュアソリューションズ株式会社「SiteGuard Server Edition」をホスティング 1 契約ごとにインストールし提供します。
------	--

2.3.4.2. 設定情報/設定値

設定ドメイン名数	<ul style="list-style-type: none">上限値は設定していません。
定義ファイルの更新	<ul style="list-style-type: none">随時更新します。

2.3.4.3. 制限事項

- 初期設定は、機能を「ON」にした状態で提供します。
- 設定変更時は WEB サーバーの再起動を行います。
- 利用サービスは当社のサービス提供の都合により変更される場合があります。

2.3.5. アクセス解析

2.3.5.1. 仕様

提供機能	<ul style="list-style-type: none">解析対象として選択したドメイン名のアクセス解析ができます。解析対象は、アクセスログ (HTTP)、SSL アクセスログ (HTTPS) になります。解析結果は、同一サーバー内の指定ディレクトリに生成します。
提供アプリケーション	<ul style="list-style-type: none">Webalizer

2.3.5.2. 設定情報/設定値

ドメイン名数	<ul style="list-style-type: none">上限値は設定していません。同じドメイン名に対して重複設定は行えません。
解析対象期間	<ul style="list-style-type: none">アクセスログ、SSL アクセスログがサーバー内に保管されている期間のみ

2.3.5.3. 制限事項

- 解析結果は、WEB アクセスが可能な領域に生成されます。必要に応じて、お客様にてアクセス制限をご設定ください。

2.3.6. cron 設定

2.3.6.1. 仕様

cron 設定	<ul style="list-style-type: none">・ 指定のスクリプトファイルを指定した時間に実行できます。・ PHP、Perl、Shell (Bash) に適用できます。
---------	--

2.3.6.2. 設定情報/設定値

スケジュールの登録数	<ul style="list-style-type: none">・ 上限設定はありません。・ 同一ファイルに複数のスケジュールを設定できます。
設定可能なスケジュール	<ul style="list-style-type: none">・ 実行日と実行時間の掛け合わせで指定できます。・ 実行日、実行時間はそれぞれ以下の通りの設定が行えます。 【実行日】<ul style="list-style-type: none">①毎日②毎月 (指定日)③毎週 (複数の曜日選択が可能)⑤実行日指定 【実行時間】<ul style="list-style-type: none">①毎時 (0 時～23 時に 1 時間間隔で実行)②指定時間③毎時の指定間隔 (1 分毎/5 分毎/10 分毎/20 分毎/30 分毎)

2.3.6.3. 制限事項

- ・ 実行結果は、cron 専用のログファイルに記録されます。
- ・ スクリプトファイル自体の処理時間がかかる場合やアクセス過多など、その他の要因のために処理が完了しない場合があります。
- ・ スクリプトの処理が完了する前に次回の実行が開始される場合でも、新たに cron が実行されます。その結果、同スクリプトの処理が完了せず、重複して起動するなどの問題を引き起こす場合があります。

2.3.7. PHP 設定

2.3.7.1. 仕様

PHP 設定	・ ホスティングで利用する PHP のバージョン選択や、特定の PHP モジュールの利用有無を設定できます
--------	---

2.3.7.2. 設定情報/設定値

選択できるバージョン	・ ホスティングに対して、バージョン(PHP7.4.x、PHP8.1.x、PHP8.2.x、PHP8.3.x)を選択できます。
------------	---

2.3.7.3. 制限事項

- ・ 設定変更時は、WEB サーバーの再起動を行います。
- ・ PHP モジュールを有効にすると、ご利用状況によりサーバーリソースのうちメモリ、CPU の利用量が増加します。
- ・ 選択できるバージョンは適時追加および削除される予定です。

2.3.8. TLS バージョン制限

2.3.8.1. 仕様

TLS バージョン制限	・ ホスティングの WEB アクセス(HTTPS)で利用する暗号化方式(TLS)のバージョンを選択できます。
-------------	--

2.3.8.2. 設定情報/設定値

選択できるバージョン	・ TLS「1.3」「1.2」「1.1」「1.0」での暗号化通信が可能です。 指定したバージョン以上での通信を許可します。
------------	--

2.3.8.3. 制限事項

- ・ 設定変更時は、WEB サーバーの再起動を行います。
- ・ TLS バージョン制限の設定内容によっては、情報セキュリティ面での安全性を損ないます。設定の際は十分ご注意ください。(TLS1.2 以上を有効とする運用を推奨いたします。)

2.3.9. CSR 発行

2.3.9.1. 仕様

CSR 発行	・ 他社にて証明書を発行される場合に必要、秘密鍵と CSR を発行することができます。
--------	---

2.3.9.2. 設定情報/設定値

発行できる形式	・ 秘密鍵、CSR の形式は、X.509 形式となります。
---------	-------------------------------

2.3.9.3. 制限事項

- ・ 日本語ドメイン名を含むコモンネームの秘密鍵、CSR は発行できません。
- ・ 発行された秘密鍵、CSR とともに、Zenlogic カスタマーポータルでは保存されません。
お客様にて秘密鍵、CSR を管理してください。

2.4. サーバーサイドスクリプト/その他

- ・ サーバーサイドスクリプトが実行できます。
- ・ スクリプト言語は、Perl、PHP に対応しています。
- ・ SSI を実行できます。
- ・ .htaccess での各種制御に対応しています。

2.4.1. ご注意

- ・ お客様が独自で設置されたプログラムに起因した問題は、当社は一切責任を負いません。ご利用にはプログラムを稼働させる知識が必要です。(プログラム作成や設置サポートは承っておりません。)
- ・ 当社システム全体に影響する高負荷やセキュリティ上の問題が発生した際は、やむを得ず停止させていただく場合があります。
- ・ 提供する各種ソフトウェアやモジュールは予告なく変更される場合があります。当社基準に基づき随時更新します。

※PHP、Perl に関する環境情報は、当社 WEB サイトにて公開しています。

【PHP】 <https://www.idcf.jp/rentalserver/support/manual/web/php.html>

【Perl】 <https://www.idcf.jp/rentalserver/support/manual/web/perl.html>

2.4.2. PHP

2.4.2.1. 仕様

PHP	<ul style="list-style-type: none">・ PHP で記述されたプログラムが実行できます。・ DSO 版、コマンドライン版を提供します。
-----	---

2.4.2.2. 設定情報/設定値

拡張子	<ul style="list-style-type: none">・ *.php
-----	---

2.4.2.3. 制限事項

- ・ php.ini の編集には対応していません。.htaccess で制御が可能な場合は、お客様にて.htaccess を用意しご対応ください。
- ・ モジュールは、当社指定のものに限ります。状況により変更する場合があります。

2.4.3. Perl

2.4.3.1. 仕様

Perl	<ul style="list-style-type: none">Perl で記述された CGI プログラムが実行できます。コマンドライン版 CGI を提供します。
------	--

2.4.3.2. 設定情報/設定値

拡張子	<ul style="list-style-type: none">*.cgi / *.pl
-----	--

2.4.3.3. 制限事項

- モジュール・ライブラリは、当社指定のものに限ります。状況により変更する場合があります。

2.4.4. SSI

2.4.4.1. 仕様

SSI	<ul style="list-style-type: none">SSI を用いた読み込みやファイルの実行を行えます。
-----	--

2.4.4.2. 設定情報/設定値

拡張子	<ul style="list-style-type: none">*.shtml※.htaccess で「*.html」を追加できます。
-----	--

2.4.4.3. 制限事項

- SSI の具体的なご利用方法や記述方法などの詳細は、サポート対象外です。

2.4.5. .htaccess

2.4.5.1. 仕様

仕様	<ul style="list-style-type: none">Apache などの WEB サーバーの動作をディレクトリ単位で制御できます。
----	---

2.4.5.2. 制限事項

- 当社のサービス運営上、一部、設定出来る項目を制限しています。
- .htaccess の具体的な記述方法や詳細は、サポート対象外です。

2.5. データベース

- ・ RDB (リレーショナルデータベース) を利用できます。
- ・ MySQL、MariaDB、PostgreSQL をプリインストール状態で提供します。

2.5.1. MySQL 5.7

2.5.1.1. 仕様

設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ Zenlogic カスタマーポータルからの起動、停止が行えます。 ・ ポート番号の変更が行えます。
メンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ データベースをバックアップできます。 <p>MySQL 5.7 が管理するすべてのデータベースを一括で当社指定ディレクトリに出力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Zenlogic カスタマーポータルからデータベースを初期化できます。
接続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同一ホストで直接接続となります。外部ホストからの直接接続は行えません。

※データベースの管理、操作は、別途、phpMyAdmin や Adminer 等をご用意・ご利用ください。

(phpMyAdmin については、簡単インストールをご参照ください。)

2.5.1.2. 設定情報/設定値

データベース管理者アカウント	<ul style="list-style-type: none"> ・ Zenlogic カスタマーポータル上では、1 契約あたり 1 アカウント <p>※phpMyAdmin にてアカウントを発行できます。</p> <p>※別途、当社管理用アカウントが設定されます。</p>
サーバーホスト名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 127.0.0.1
ポート番号	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設定できるポート番号は一つです。 ・ 3306～3999 の範囲で設定できます。初期設定は 3306 です。

2.5.1.3. 制限事項

- ・ MySQL 5.7 のアンインストールはできません。
- ・ MySQL 8.0/MariaDB 10.3 との同時起動は可能ですが、ポートは他データベース利用分と別の番号を利用する必要があります。また、お客様のご利用状況により、処理速度や体感速度でご満足いただけない場合があります。上位リソースプランへの変更をご検討ください。

2.5.2. MySQL 8.0

2.5.2.1. 仕様

設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ Zenlogic カスタマーポータルからの起動、停止が行えます。 ・ ポート番号の変更が行えます。
メンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ データベースをバックアップできます。 MySQL 8.0 が管理するすべてのデータベースを一括で当社指定ディレクトリに出力します。 ・ Zenlogic カスタマーポータルからデータベースを初期化できます。
接続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同一ホストで直接接続となります。外部ホストからの直接接続は行えません。

※データベースの管理、操作は、別途、phpMyAdmin や Adminer 等をご用意・ご利用ください。
(phpMyAdmin については、簡単インストールをご参照ください。)

2.5.2.2. 設定情報/設定値

データベース管理者アカウント	<ul style="list-style-type: none"> ・ Zenlogic カスタマーポータル上では、1 契約あたり 1 アカウント ※phpMyAdmin にてアカウントを発行できます。 ※別途、当社管理用アカウントが設定されます。
サーバーホスト名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 127.0.0.1
ポート番号	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設定できるポート番号は一つです。 ・ 3306～3999 の範囲で設定できます。初期設定は 3306 です。

2.5.2.3. 制限事項

- ・ MySQL 8.0 のアンインストールはできません。
- ・ MySQL 5.7/MariaDB 10.3 との同時起動は可能ですが、ポートは他データベース利用分と別の番号を利用する必要があります。また、お客様のご利用状況により、処理速度や体感速度でご満足いただけない場合があります。上位リソースプランへの変更をご検討ください。

2.5.3. MariaDB 10.3

2.5.3.1. 仕様

設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ Zenlogic カスタマーポータルからの起動、停止が行えます。 ・ ポート番号の変更が行えます。
メンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ データベースをバックアップできます。 ・ MariaDB 10.3 が管理するすべてのデータベースを一括で当社指定ディレクトリに出力します。 ・ Zenlogic カスタマーポータルからデータベースを初期化できます。
接続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同一ホストで直接接続となります。外部ホストからの直接接続は行えません。

※データベースの管理、操作は、別途、phpMyAdmin や Adminer 等をご用意・ご利用ください。

(簡単インストールで提供する phpMyAdmin のバージョンは、MariaDB10.3 には対応していません。)

2.5.3.2. 設定情報/設定値

データベース管理者アカウント	<ul style="list-style-type: none"> ・ Zenlogic カスタマーポータル上では、1 契約あたり 1 アカウント ※phpMyAdmin にてアカウントを発行できます。 ※別途、当社管理用アカウントが設定されます。
サーバーホスト名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 127.0.0.1
ポート番号	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設定できるポート番号は一つです。 ・ 3306～3999 の範囲で設定できます。初期設定は 3306 です。

2.5.3.3. 制限事項

- ・ MariaDB 10.3 のアンインストールはできません。
- ・ MySQL 5.7/MySQL 8.0 との同時起動は可能ですが、ポートは他データベース利用分と別の番号を利用する必要があります。また、お客様のご利用状況により、処理速度や体感速度でご満足いただけない場合があります。上位リソースプランへの変更をご検討ください。
- ・ 簡単インストール機能で提供している phpMyAdmin は、MariaDB 10.3 には対応していません。MariaDB 10.3 で phpMyAdmin をご利用の際は、別途、開発コミュニティサイト等で提供されている対応バージョンをご利用ください。

2.5.4. PostgreSQL 9.6

2.5.4.1. 仕様

設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ Zenlogic カスタマーポータルからの起動、停止が行えます。 ・ ポート番号の変更が行えます。
メンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ データベースをバックアップできます。 <p>PostgreSQL 9.6 が管理するすべてのデータベースを一括で当社指定のディレクトリに出力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Zenlogic カスタマーポータルからデータベースを初期化できます。
接続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同一ホストで直接接続となります。外部ホストからの直接接続は行えません。

※データベースの管理、操作は、別途、phpPgAdmin や Adminer 等をご用意・ご利用ください。
(phpPgAdmin については、簡単インストールをご参照ください。)

2.5.4.2. 設定情報/設定値

データベース管理者アカウント	<ul style="list-style-type: none"> ・ Zenlogic カスタマーポータル上では、1 契約あたり 1 アカウント <p>※phpPgAdmin にてアカウントを発行できます。</p> <p>※別途、当社管理用アカウントが設定されます。</p>
サーバーホスト名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 127.0.0.1
ポート番号	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設定できるポート番号は一つです。 ・ 5432～5999 の範囲で設定できます。初期設定は 5432 です。

2.5.4.3. 制限事項

・ PostgreSQL 9.6 のアンインストールはできません。

2.5.5. その他

SQLite	<ul style="list-style-type: none"> ・ Ver2 系と Ver3 系が利用可能です。 <p>Ver2 系の利用には次の制限があります。</p> <p>PHP 上では利用できません。</p>
--------	--

2.6. メール

- ・メール送受信アカウントを登録できます。送受信は複数のプロトコルに対応します。
- ・メールアカウントへの自動返信を設定できます。
- ・メールアカウントを転送用アカウントに設定できます。
- ・メールウイルス/スパムメールへの対策機能を標準提供しています。
- ・メール配送時の接続元を制限できます。
- ・メールアカウントの利用者へ、パスワード変更を促すことができます。
- ・メールアカウント毎に、メールボックス使用容量の確認ができます。
- ・送信メールを、外部の中継メールサーバーへ配送することができます。

2.6.1. メールアカウント

2.6.1.1. 仕様

メールアカウント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数のメールアカウントを登録できます。CSV 形式のテキストによる一括登録・一括出力も選択できます。 ・ ドメイン設定で「メール機能を利用する」と設定したドメイン名で登録できます。 ・ SMTP-AUTH に対応しています。
----------	--

2.6.1.2. 設定情報/設定値

プロトコル	・ POP / POPS / IMAP4 / IMAP4S / SMTP / SMTPS
認証方式	・ POP / IMAP4 / SMTP-AUTH は、「LOGIN / PLAIN / CRAM-MD5」に対応しています。
アカウント登録数	・ 上限は設定していません。
1 通あたりのメールサイズ	・ 100MB/通（ヘッダ、本文、添付ファイル等も含まれます。）
1 メールボックスのサイズ	・ 上限は設定していません。

2.6.1.3. 制限事項

- ・ 日本語ドメイン名でのメールは、Zenlogic ホスティングでは対応しておりません。
- ・ 登録したメールアカウントのアカウント名、ドメイン名は変更できません。
- ・ POPS / IMAP4S / SMTPS は、当社指定の標準ドメイン名用の SSL サーバー証明書を用います。変更できません。
- ・ APOP、POP before SMTP は提供しておりません。
- ・ ご契約サーバーの利用状態次第では、メール送受信の遅延やエラーが発生します。また、メールの到達性も保証しておりませんので予めご了承ください。
※ご利用方法に合わせて、リソースプラン変更やサーバー分離をご検討ください。
- ・ 各プロトコルに対応したポートは、「Zenlogic ホスティング on IDC F Cloud サービス仕様書」をご確認ください。
- ・ 一通あたりのメールサイズは、非圧縮でのファイルサイズです。圧縮ファイルを添付された場合は、解凍後のファイルサイズにて制限されます。

2.6.2. メールアカウント詳細設定

- ・ 「メール自動返信」、「メールフィルター」、「メール転送」、「メール保管」が設定できます。
- ・ メールアカウントごとに複数の転送先メールアカウントを設定できます。
- ・ 「メールフィルター」、「メール転送」は、メールアカウントごとに条件を設定できます。

2.6.2.1. 仕様

メール自動返信	<ul style="list-style-type: none"> ・ メールアカウントごとに自動返信を設定できます。 ・ 自動返信メールの差出人 (From)、件名 (Subject)、本文を設定できます。 ・ 本文の登録は、定型文のみです。
メールフィルター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定のメールアカウントに登録した条件と一致したメールを破棄できます。 ・ 条件は、メールヘッダと条件の組み合わせが指定できます。
メール転送	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定のメールアカウントに条件一致した転送先にメールを転送します。 ・ 転送先は、複数のメールアカウントを設定できます。 ・ 条件は、メールヘッダと条件の組み合わせが指定できます。 ・ 差出人を送信元のアドレスもしくは当メールアカウントに変更できます。
メール保管	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定のメールアカウントで受信したメールをサーバーに保管するか、しないか、設定できます。

2.6.2.2. 設定情報/設定値

メール転送設定数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 メールアカウントに対する設定数 : 9,999 件 ※全条件、転送先等の設定総数です。 				
メールフィルター設定数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 メールアカウントに対する条件数 : 9,999 件 				
指定可能な条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ メールフィルター、メール転送では、「対象のメールヘッダ」と「キーワードに対する条件」組み合わせで条件を指定できます。 ・ 同じメールアカウントに対して複数の条件が設定できます。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>ヘッダ</td> <td>From / Subject / To / Cc / Return-Path / X-ML-Name / List-ID / Content-Type</td> </tr> <tr> <td>条件</td> <td>と一致する / と一致しない / を含む / を含まない / で始まる / で始まらない / で終わる / で終わらない</td> </tr> </table>	ヘッダ	From / Subject / To / Cc / Return-Path / X-ML-Name / List-ID / Content-Type	条件	と一致する / と一致しない / を含む / を含まない / で始まる / で始まらない / で終わる / で終わらない
ヘッダ	From / Subject / To / Cc / Return-Path / X-ML-Name / List-ID / Content-Type				
条件	と一致する / と一致しない / を含む / を含まない / で始まる / で始まらない / で終わる / で終わらない				
自動返信設定数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 メールアカウントに対して 1 つの設定が行えます。 				
自動返信回数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同一送信元からのメール送信に対して、1 日 1 回返信します。 				

2.6.2.3. 制限事項

- ・転送条件を設定しない場合は、すべてのメールを転送先メールアカウントに転送します。
- ・メールを「保管しない」を設定した場合、受信したメールは、すべてサーバー側で破棄します。
破棄後のメールを復活させることや確認することはできません。

2.6.3. メールボックス使用量表示

2.6.3.1. 仕様

容量表示	・ メールアカウント毎のメールボックス使用容量が確認できます。
保存メール件数表示	・ メールアカウント毎の保存メール件数が表示できます。
確認間隔	・ メール件数/使用容量の確認は、表示した時点の状態となります。 ・ 容量の算出負荷が高いため、前回表示した時点からおおよそ 24 時間は更新されません。(リアルタイムではありません)

2.6.3.2. 制限事項

- ・ メールクライアント(メーラーや Roundcube 等)から一度も受信していないアカウントに関しては、メールが存在してもメール数/使用容量は、0 件/0MB と表示されます。

2.6.4. ウイルス/スパム対策

2.6.4.1. 仕様

ウイルス検知	<ul style="list-style-type: none">・メールの送信、受信ともにメールのウイルスチェックを行います。・ウイルス/スパム対策の利用可否を選択できます。・ウイルスが検知された場合、ウイルス感染の疑いのあるメールを圧縮し、受信者とメールシステム管理者に送信します。圧縮したファイルの解凍にはパスワードが必要です。パスワードはコントロールパネルに表示されます。
スパム検知	<ul style="list-style-type: none">・スパム検知時は、件名 (Subject) に文字列として [SPAM] を付加します。・ウイルス/スパム対策の利用可否を選択できます。
ホワイトリスト/ブラックリスト	<ul style="list-style-type: none">・スパムフィルターとしてホワイトリスト、ブラックリストを登録できます。任意のメールアカウントをそれぞれのリストに登録でき、各リストでのレイティングから総合評価したスパム判定を行います。・リストには、メールアカウントを登録できます。ワイルドカードの登録もできます。

2.6.4.2. 設定情報/設定値

適用範囲	<ul style="list-style-type: none">・本サービスで登録した全メールアカウントに適用します。ドメイン名別、アカウント別などの適用は行えません。
ウイルス定義ファイルの更新	<ul style="list-style-type: none">・随時更新します。
通知先の設定数	<ul style="list-style-type: none">・ウイルス/スパムの検知時の通知先を1件登録できます。

2.6.4.3. 制限事項

- ・ウイルス/スパム対策の利用可否については、サーバー全体に適用されます。特定のメールアドレス・メールアカウント単位での制限はできません。
- ・ウイルス検知後は、ウイルスに感染している恐れのあるファイルが添付されて送信されますので、ご利用にはご注意ください。

2.6.5. メール送信元制限

2.6.5.1. 仕様

仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ メール配送時の接続元を制限できます。(SMTP/SMTPS への接続が対象) ・ 接続制限は、以下の方法が選択できます。 <ol style="list-style-type: none"> ①すべてのアクセスを許可 ②すべてのアクセスを拒否 ③特定の IP アドレス/ネットワークからのアクセスを許可 ④特定の IP アドレス/ネットワークからのアクセスを拒否 <p>※例 IP アドレスを単独で指定 192.0.2.3 ネットワークを範囲で指定 192.0.2.0/24</p>
----	--

2.6.5.2. 設定情報/設定値

設定範囲	・ ホスティングの契約ごとに設定できます。
接続制限数	・ 上限は設定していません。

2.6.5.3. 制限事項

- ・ 接続制限を設定した IP アドレス、ネットワークから SMTP/SMTPS への接続をすべて制限します。
- 設定内容によっては意図せずメールが送信できなくなる、または、外部からのメールが届かなくなるケースもありますので、慎重に設定してください。

2.6.6. パスワード変更通知

2.6.6.1. 仕様

仕様	<ul style="list-style-type: none">・ メールアカウント利用者に向け、メール通知にてパスワード変更を促すことができます。 また、通知後の取り消し、および通知の有効期限を設定できます。・ メールアカウント利用者は、メール通知の内容からパスワード変更画面へアクセスし、パスワードを変更できます。 <p>定期的なパスワード更新を行われている場合や、メールアカウント発行後のメールアカウント利用者側でのパスワード更新時にご利用ください。</p>
----	---

2.6.6.2. 設定情報/設定値

パスワード変更有効期限	<ul style="list-style-type: none">・ 初期設定値は、7日間 1～14 日間までの間で設定可能です。
-------------	--

2.6.6.3. 制限事項

- ・ 当機能の通知なしに、メールアカウント利用者が直接メールアカウントのパスワードを変更することはできません。

2.6.7. 共通メールフィルター

2.6.7.1. 仕様

仕様	<ul style="list-style-type: none"> 指定のドメインへのメールに対し、登録した条件と一致したメールを破棄できます。 条件は、メールヘッダと条件の組み合わせが指定できます。
----	---

2.6.7.2. 設定情報/設定値

設定数	<ul style="list-style-type: none"> 1ドメインに対する条件数 : 9,999 件 				
指定可能な条件	<ul style="list-style-type: none"> 共通メールフィルターでは、「対象のメールヘッダ」と「キーワードに対する条件」組み合わせで条件を指定できます。 同じドメインに対して複数の条件が設定できます。 <table border="1"> <tr> <td>ヘッダ</td> <td>From / Subject / To / Cc / Return-Path / X-ML-Name / List-ID / Content-Type</td> </tr> <tr> <td>条件</td> <td>と一致する / と一致しない / を含む / を含まない / で始まる / で始まらない / で終わる / で終わらない</td> </tr> </table>	ヘッダ	From / Subject / To / Cc / Return-Path / X-ML-Name / List-ID / Content-Type	条件	と一致する / と一致しない / を含む / を含まない / で始まる / で始まらない / で終わる / で終わらない
ヘッダ	From / Subject / To / Cc / Return-Path / X-ML-Name / List-ID / Content-Type				
条件	と一致する / と一致しない / を含む / を含まない / で始まる / で始まらない / で終わる / で終わらない				

2.6.7.3. 制限事項

- 当機能の条件に合致したメールは全て破棄され、復旧等できません。慎重に設定、ご利用ください。

2.6.8. TLS バージョン制限

2.6.8.1. 仕様

TLS バージョン制限	・ ホスティングのメール送受信時アクセス(SMTPS、POP3S、IMAPS)で利用する暗号化方式(TLS)のバージョンを選択できます。
-------------	--

2.6.8.2. 設定情報/設定値

選択できるバージョン	・ TLS「1.3」「1.2」「1.1」「1.0」での暗号化通信が可能です。 指定したバージョン以上での通信を許可します。
------------	--

2.6.8.3. 制限事項

- ・ 設定変更時は、メールサーバーの再起動を行います。
- ・ TLS バージョン制限の設定内容によっては、情報セキュリティ面での安全性を損ないます。
設定の際は十分ご注意ください。(TLS1.2 以上を有効とする運用を推奨いたします。)

2.6.9. メールサーバーの起動/停止

2.6.9.1. 仕様

メールサーバーの起動/停止	・ メール送受信時に利用するメールサーバー(postfix、dovecot)の起動/停止を行えます。
---------------	--

2.6.9.2. 設定情報/設定値

設定内容	・ ON(起動)/OFF(停止) ※初期状態は ON(起動)となります。
------	---

2.6.9.3. 制限事項

- ・ メールサーバーを停止した場合、WEB プログラム等の作り方によりメールが送信できなくなる場合があります。

2.6.10. リレーサーバー設定

2.6.10.1. 仕様

リレーサーバー設定	・ ホスティングから送信するメールについて、外部の中継メールサーバーへ配送できます。
-----------	--

2.6.10.2. 設定情報/設定値

設定範囲	・ ON(起動)/OFF(停止) ※初期状態は OFF(停止)となります。
送信メールサーバー	・ 外部の中継メールサーバーを指定できます。 メールサーバーの FQDN 名か IP アドレスを指定できます。
MX レコードの参照	・ 参照する/参照しない を選択できます。 ※送信メールサーバーを IP アドレスで指定した場合は、参照しない、を選択してください。
送信ポート番号	・ 1～65534 の範囲で設定できます。
SMTP 認証ユーザー名	・ 中継メールサーバーでの SMTP 認証ユーザーを指定できます。
SMTP 認証パスワード	・ 中継メールサーバーでの SMTP 認証ユーザーを指定した場合、そのパスワードを指定できます。

2.6.10.3. 制限事項

- ・ 外部の中継メールサーバーへ配送させる場合は、メールサーバーが起動状態である必要があります。
- ・ リレーサーバー設定を有効にした場合、外部へのメール配送は、設定された中継サーバーへ配送されます。ドメインごとの配送設定はできません。また、ホスティングに設定されたドメイン内のアカウント同士での内部配送は中継されません。

2.6.11. DKIM 設定

- ・ホスティングから送信するメールについて、ドメイン名ごとに DKIM 署名を作成し付与できます。

2.6.11.1. 仕様

署名	・ localhost や sendmail コマンドからの接続、もしくは、SMTP 認証された場合で、かつ From ヘッダが署名設定されたドメインのメールアドレスの場合に DKIM 署名を実施します。
検証	・ DKIM 署名が含まれるメールは受信時に検証が自動的に行われます。

2.6.11.2. 設定情報/設定値

鍵の発行	・セレクト名を指定してキーペアを発行することができます。 ・秘密鍵は 2048bit の RSA 鍵を用います。 ・セレクトはドメイン名ごとに 3 つまで登録することができます。
------	---

2.6.11.3. 制限事項

- ・DKIM 設定はメール送信設定したドメイン名のみ設定可能です。
- ・標準ドメインでは設定できません。

2.7. メーリングリスト

- ・ 複数のメーリングリストを作成できます。
- ・ メーリングリストごとに管理者メールアドレスを登録できます。
- ・ メーリングリストごとに動作設定が行えます。
- ・ メーリングリストのメンバーを登録できます。
- ・ メーリングリストメンバーごとに権限設定が行えます。

2.7.1. 仕様

動作設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ メーリングリストへの投稿者について登録されたメンバーのみ、管理者が承認した場合のみ制限できます。 ・ メンバー以外の投稿を拒否できます。 ・ 投稿メール 1 通あたりのメールサイズを制限できます。 ・ 自動的に件名 (Subject) へ文字列と連番を追加できます。連番の開始番号を指定できます。 ・ メーリングリストから配信されたメールへの返信先が設定できます。返信先は、「メーリングリスト」「送信者」「返信先のメールアドレスの指定」を設定できます。 ・ メーリングリストごとに、CSV 形式のテキストによるメンバーの一括登録も選択できます。(1CSV ファイルにつき 1000 件まで。)また、CSV 形式のテキストによるメンバーの一括出力も可能です。
権限設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ メンバーごとに以下の権限が選択できます。 <ol style="list-style-type: none"> ①投稿のみ ②受信のみ ③投稿と受信が可能

2.7.2. 設定情報/設定値

ソフトウェア	・ メーリングリスト管理ソフトウェア「fml」
メーリングリスト設置数	・ 上限は設定していません。
メンバーの登録数	・ 上限は設定していません。

2.7.3. 制限事項

- ・ アーカイブ、コマンドメール、リモート管理者に対応していません。
 - ・ WEB やメールの利用状態やメーリングリストからのメール配信数が多い場合、配信完了に時間が掛かる場合や配信が完了しない場合があります。メールの到達性は保証しておりませんので予めご了承ください。
- ※ご利用方法に合わせて、スペックアップやサーバーの分離をご検討ください。

2.8. 簡易ファイル共有

- ・ FTP / SFTP / FTPS を用いたファイル共有が行えます。
- ・ ファイル共有用のログイン ID、ディレクトリが登録できます。
- ・ ログイン ID を共有し、複数のメンバーでの簡易なファイル共有を行えます。

2.8.1. 仕様

ログイン ID/ ディレクトリ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数のログイン ID が登録できます。CSV 形式のテキストによる一括登録・一括出力も選択できます。 ・ 簡易ファイル共有用のディレクトリは、専用の領域に作成されます。 ・ ログイン ID 登録時にログイン ID と同名のディレクトリが自動作成されます。 ・ ディレクトリは WEB からアクセス出来ない領域に作成されます。
FTP/SSH 設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ SSH キーを用いた接続が行えます。 <p>SSH キーは、Zenlogic カスタマーポータル上で発行し登録するか、お持ちの公開鍵を登録できます。</p>
FTP アクセス制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ FTP サーバーへのアクセス制限が行えます。 <p>全アカウントに一律で設定されます。アカウント単位の設定はできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アクセス制限は、以下の方法が選択できます。 <ol style="list-style-type: none"> ①すべてのアクセスを許可 ②すべてのアクセスを拒否 ③特定の IP アドレス/ネットワークからのアクセスを許可 ④特定の IP アドレス/ネットワークからのアクセスを拒否 <p>※例 IP アドレスを単独で指定 192.0.2.3 ネットワークを範囲で指定 192.0.2.0/24</p>

2.8.2. 設定情報/設定値

ログイン ID 登録数	・ 上限は設定していません。
アクセス制限設定上限	・ 上限は設定していません。
SSH キー登録数	・ 上限は設定していません。

2.8.3. 制限事項

- ・ 簡易ファイル共有用のディレクトリには、複数のログイン ID を設定できません。
1 ディレクトリにつき 1 ログイン ID のみがアクセス可能です。

2.9. 簡単インストール

- ・ 当社で準備済みの WEB アプリケーションをサーバーにインストールできます。
- ・ Zenlogic カスタマーポータルからインストールに必要な設定が行えます。

2.9.1. 仕様

提供アプリケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ WordPress ・ EC-CUBE(4 系) ・ WEB メール (Roundcube) ・ phpMyAdmin ・ phpPgAdmin ・ Tiny File Manager
提供バージョン	<ul style="list-style-type: none"> ・ インストールバージョンは当社指定バージョンです。選択はできません。
インストール機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ インストール先ディレクトリを指定できます。事前にディレクトリの作成が必要です。 ・ インストール時にデータベースの作成を行います。 ・ 必要に応じてデータベース管理者や各アプリケーションの管理者情報を Zenlogic カスタマーポータルから編集できます。

2.9.2. 設定情報/設定値

データベース	MySQL、PostgreSQL は、データベース機能でデータベースを起動し利用します。	
	MySQL 5.7	・ WordPress / EC-CUBE(4 系) / phpMyAdmin
	MySQL 8.0	・ WordPress / EC-CUBE(4 系) / phpMyAdmin
	PostgreSQL 9.6	・ phpPgAdmin
	SQLite	・ Roundcube
インストール回数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 ディレクトリ 1 回までインストールが可能です。 ※データベース名の指定が必要な場合は、すべて異なるデータベース名の設定が必要です。 	

2.9.3. 制限事項

- ・ インストール可能なアプリケーションは、当社の都合により変更する場合があります。
- ・ インストールしたアプリケーションは、お客様での管理が必要です。
セキュリティ上の問題やお客様データの異常などが発生しても当社は一切の責任を負いません。また、各アプリケーションの利用方法や挙動などはサポート範囲外とします。
- ・ アンインストール機能やインストール後のソフトウェアアップデートは提供しません。お客様でのアップデート作業が必要になる場合があります。
- ・ EC-CUBE (4系) は、PHP5.3.x、PHP8.2.x、PHP8.3.x では利用できません。他バージョンをご利用ください。

2.10. ログ

- ・ ホスティングに関わる各種ログファイルを保存できます。
- ・ ログファイルはFTP でダウンロードできます。
- ・ Zenlogic カスタマーポータルでの操作ログを確認できます。

2.10.1. 各種ログファイルの提供

2.10.1.1. 仕様

仕様	<ul style="list-style-type: none">・ 目次でログファイルが保存されます。・ ログファイルの保存期間を選択できます。
----	---

2.10.1.2. 設定情報/設定値

ログの種類	<ul style="list-style-type: none">・ FTP / FTPS / SFTP・ WEB (HTTP / HTTPS) ※エラーログも保存します。・ メール (メール、POP)・ データベース(MySQL、MariaDB、PostgreSQL)・ cron・ WAF
ログ形式	<ul style="list-style-type: none">・ WEB のログファイルは、「Apache 標準仕様 NCSA タイプ (combinedio フォーマット)」です。
保存期間	<ul style="list-style-type: none">・ 3 ヶ月 / 6 ヶ月 / 12 ヶ月 から選択できます。・ ※初期設定は 12 ヶ月です。・ 保存期間より以前のログは自動的に削除されます。

2.10.1.3. ログローテート

- ・ ログローテートは 毎日 3:00 ~ 4:00 の間で実施します。
- ・ ログファイルが空ファイルでもローテートします。
- ・ 当該時間にサーバー停止があった場合は、稼働が再開した後にローテートを実施します。

2.10.1.4. 制限事項

- ・ ログファイルは、契約ディスク容量内に保存します。
- ・ ログの保存期間を変更した場合、指定した保存期間以前のログはすべて削除されます。
- ・ 解約から 7 日間は、その他のデータと共にログデータも保持します、7 日経過以降は、当社任意のタイミングで全データ(ログデータを含む)を削除します。

2.10.2. Zenlogic カスタマーポータルへの操作ログ

2.10.2.1. 仕様

操作ログ	Zenlogic カスタマーポータルでお客様環境の設定を変更した際の操作ログが画面上で確認できます。
会員操作ログ	Zenlogic カスタマーポータルへのログイン状況が確認できます。